

「光技術と技術経営 国際競争力回復を目指して」

(日本光学会光設計研究グループ企画)

かつて盛況をきわめた日本の半導体産業やこれに密接にかかわる我が国の諸産業は、90年代後半より世界市場シェアにおいて首位の座を脅かされ、ビジネス面はもとより技術面においても危機的状況が続いています。また、最近ディスプレイやモバイルなどデジタル家電分野で回復の期待が高まっておりますが、海外シェア不振など依然として先行きの不透明感はぬぐえない状況です。

このような局面に対し、鋭い問題意識のもと日本の国際競争力回復を目指した技術経営的な現状分析や技術経営手法の提案が各方面で活発化しています。今回、特に、光技術に直接、あるいは、間接的に関連する技術経営的テーマに取り組み最先端にてご活躍の講師陣を迎え、シンポジウムを開催することになりました。積極的なご臨席とご討議へのご参加をお願いいたします。

【日時】2005年3月30日(水) 13:00~16:50

【場所】埼玉大学(さいたま市桜区下大久保255) 共通教育A棟 YE

(詳細は、応用物理学会誌2005年3月号、または、ホームページ

<http://www.jsap.or.jp/activities/annualmeetings/2005spring.html> をご参照ください。)

プログラム

- | | | |
|-------|---|------------------|
| 13:00 | 1. イントロダクトリートーク | 立野 公男 氏(文部科学省) |
| 13:05 | 2. 我が国サイエンス型産業が直面する複雑性と組織限界
半導体露光装置産業の事例から | 中馬 宏之 氏(一橋大学) |
| 13:35 | 3. 日本の産学連携強化への提言
半導体露光装置技術を事例に | 立野 公男 氏(文部科学省) |
| 14:05 | 4. 米国の産学連携
MEMS分野の事例から | 和賀 三和子 氏(GETI) |
| 14:35 | 休憩 | |
| 14:50 | 5. ソフトウェア開発の新傾向
象の合理性と猿の合理性 | 林 晋 氏(神戸大学・京都大学) |
| 15:20 | 6. 国際競争力強化の研究開発・知財戦略
協調と競争の戦略 | 丸島 儀一 氏(キヤノン) |
| 15:50 | 7. LLC(Limited Liability Company)制度の提案 | 齋藤 旬 氏(ニコン) |
| 16:20 | 8. パネル討論(30分) | |

【主催】 応用物理学会

【企画】 日本光学会 光設計研究グループ [代表 丸山 晃一(ペンタックス)]

<http://www.opticsdesign.gr.jp/>

【参加費】 第52回応用物理学関係連合講演会(有料)に参加される方は、自由に聴講いただけます。

【事前申込】 不要です。直接会場においでください。

【問合せ先】 キヤノン(株) 半導体機器第四開発センター 半導体機器411設計室 石井 弘之
〒321-3292 栃木県宇都宮市清原工業団地20-2

TEL 028-667-5711、FAX 028-667-9325、E-mail aps52@opticsdesign.gr.jp